

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

山田 7144-3993 石林 7154-7511

三原 7152-6559

2011.12.1 NO.69



「九条の会・流山」HP: <http://www.nagareyama9.org/>

メール: info@nagareyama9.org

ホント? 日米地位協定見直し?

飲酒運転した米軍属の 死亡事故日本で裁判

政府は、在日米軍で働く民間米国人(軍属)が、公務中に起こした事件・事故について日本側が裁判できるように変更する、と伝えられます。これをうけて那覇地検は改めてこの米人を起訴しました。

1995年3人の米兵による小学生暴行事件で怒りの県民集会が持たれました。その後一定の配慮(気にしている)はあるものの基本的には変わっていません。

今回も アメリカが公務と認めればアメリカに裁判権 交通死亡事故など重要事件の場合米が訴追せず、しかも米が同意した場合に限り日本の裁判できるというもの。しかもこれは協定変更ではなく、日本側が要請したら「好意的な考慮」(sympathetic consideration)をはらうというもので「運用」変更には過ぎません。米国人の軍属男性(24)が帰宅途中に日本人の男性会社員(当時19歳)を死亡させた交通事故。飲酒運転しての死亡事故を「公務中」とはさすがに言いにくく、アメリカの裁判権を放棄したものだと思われる。

「日米両政府としては、沖縄の負担軽減を図ることで、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設問題の進展につなげる狙いもあるとみられる。」との報道もありますが、何が負担軽減なのかわかりません。



日本人 1088 人が米軍の犠牲に

今年の日米安全保障条約締結60年にあたりまず。アメリカが朝鮮戦争への在日米軍の出兵を合理化するためにサンフランシスコ条約で急遽独立を承認し、同時に秘密裏に事を運んで外務大臣以外代表の誰も中身を知らずに調印したというのがこの安保条約。しかし相互安全保障条約といいながら、日本の安全を守るどころか多くの日本人の命が奪われています。在日米軍の兵士や軍属らが引き起こした事件・事故とその犠牲者の数は1952~2010年で

総数は20万8029件

公務中4万8504、(死亡日本人520人)

公務外15万9525(死亡日本人568人)

と日本人の死者は1088人にも達し、昨年も死亡事故を含め573件発生しています。

(公務中とは基本的に米軍が「公務中」と「認定」して日本側に犯人を引き渡さなかった事件)

アメリカの新型爆弾

地下60mにもぐって爆破

米空軍は新型の超大型地下貫通型爆弾(長さ約6m、重さ約13t)を配備しました。ボーイング社製。2.4tの爆薬を詰め、GPS(全地球測位システム)で誘導され、地下60mまで貫通する能力があります。日本の最近の地下鉄は大深度といわれ地下40mより深いところを走っています。(地上に上がるのも大変!)地上は所有権が複雑で同意を求めるのは困難というか、不可能に近いので、土地の所有権に関係ない深さと決めて使用しているからです。そんな地下まで爆撃しようという悪魔の兵器。どこまでも破壊力を高める競争で利益を追求する。まさに「死の商人」。

